

## 分科会開催報告書

報告日	平成 27年 5月 28日	報告者	田中徳明																																			
分科会名	浮雲俳句会	開催テーマ	第90回浮雲俳句会例会																																			
開催日時	平成27年 5月 24日 午前 9:30~11:30	開催場所	金沢地区センター小会議室																																			
参加人数	“わ”の会会員 男 13名 女 4名 合計 17名 欠席者 0名																																					
<p><b>実施内容</b></p> <p>第90回例会の出句は兼題 ①侍従川 ②万緑 と当季雑詠2句の計4句。 句会は、大川一馬会員による添削披露及び鈴木祥代会員による選句の披講の後、北野主宰から、天・地・人各賞及び特選8句並びに佳作6句の発表と、それぞれの句についての論評があった。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 15%;">天賞句</td> <td style="width: 65%;">万緑や地球の青の深まれり</td> <td style="width: 20%;">重 九</td> </tr> <tr> <td>地賞句</td> <td>でで虫や書棚に眠る太宰の書</td> <td>勇 平</td> </tr> <tr> <td>人賞句</td> <td>若葉風揺らぐ鏡の小宇宙</td> <td>和 女</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">特選句</td> <td>青鷺の貴婦人のごと侍従川</td> <td>祥 代</td> </tr> <tr> <td>照手姫偲ぶ螢や侍従川</td> <td>好 童</td> </tr> <tr> <td>万緑の尾根に添へたるはぐれ雲</td> <td>一 幸</td> </tr> <tr> <td>万緑の御巢鷹尾根へ肅々と</td> <td>一 馬</td> </tr> <tr> <td>七十五重ねし命書を曝す</td> <td>一 祝</td> </tr> <tr> <td>青鳩の翔ぶ万緑のうねりかな</td> <td>十 九</td> </tr> <tr> <td>燕の子新風として街を飛べ</td> <td>一 紀</td> </tr> <tr> <td>なびかずにひたすら天へ今年竹</td> <td>とも女</td> </tr> </table> <p>主宰の指導：①適切な季語についてはいつも注意を促しているが、『季寄せ』を常に携帯し確認を怠らない習慣づけをされたい。 ②カタカナの使用も安易に陥ることのないように。漢字により句の格調を高めよ。 ③「や切り」よりも一句一章が相応しいこともある。研究を望む。</p> <p><b>会員選高点句</b></p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 15%;">6点句</td> <td style="width: 65%;">能登までも百万石の五月晴</td> <td style="width: 20%;">二 祥</td> </tr> <tr> <td>5点句</td> <td>万緑の我がキャンパスに収まらず</td> <td>三 旦</td> </tr> <tr> <td>5点句</td> <td>筍飯一筆添へて妻出かけ</td> <td>重 九</td> </tr> </table> <p>次回の予定 平成27年6月 7日(日)午後0時30分~午後4時 金沢地区センター 第17回金沢区民俳句大会への参加</p> <p>その他 ①浮雲俳句会10周年記念事業である『十年の歩み』について、会員の作品40句及び各人の感想文の、原稿の作成について確認を行った。 ○原稿は今月中の完成とし、それを1部コピーして田中まで提出。A-4版統一。 ○提出月日は7月11日の学習会 または7月12日の金沢句会 とする。 ②本日、片岡洋助新入会</p>				天賞句	万緑や地球の青の深まれり	重 九	地賞句	でで虫や書棚に眠る太宰の書	勇 平	人賞句	若葉風揺らぐ鏡の小宇宙	和 女	特選句	青鷺の貴婦人のごと侍従川	祥 代	照手姫偲ぶ螢や侍従川	好 童	万緑の尾根に添へたるはぐれ雲	一 幸	万緑の御巢鷹尾根へ肅々と	一 馬	七十五重ねし命書を曝す	一 祝	青鳩の翔ぶ万緑のうねりかな	十 九	燕の子新風として街を飛べ	一 紀	なびかずにひたすら天へ今年竹	とも女	6点句	能登までも百万石の五月晴	二 祥	5点句	万緑の我がキャンパスに収まらず	三 旦	5点句	筍飯一筆添へて妻出かけ	重 九
天賞句	万緑や地球の青の深まれり	重 九																																				
地賞句	でで虫や書棚に眠る太宰の書	勇 平																																				
人賞句	若葉風揺らぐ鏡の小宇宙	和 女																																				
特選句	青鷺の貴婦人のごと侍従川	祥 代																																				
	照手姫偲ぶ螢や侍従川	好 童																																				
	万緑の尾根に添へたるはぐれ雲	一 幸																																				
	万緑の御巢鷹尾根へ肅々と	一 馬																																				
	七十五重ねし命書を曝す	一 祝																																				
	青鳩の翔ぶ万緑のうねりかな	十 九																																				
	燕の子新風として街を飛べ	一 紀																																				
	なびかずにひたすら天へ今年竹	とも女																																				
6点句	能登までも百万石の五月晴	二 祥																																				
5点句	万緑の我がキャンパスに収まらず	三 旦																																				
5点句	筍飯一筆添へて妻出かけ	重 九																																				